

田浦地域 教育環境整備について

令和5年12月1日・3日・7日

横須賀市教育委員会事務局
教育総務部 教育政策課

【本日の内容】

1 本地域説明会について

- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

1 本地域説明会について

横須賀市教育委員会では、令和4年3月に策定した「横須賀市教育環境整備計画」に基づき、人口減少が進む本市において、学校規模の小規模化、施設の老朽化及び通学区域に関する課題等の解決に向けた検討を行い、市立小中学校の教育環境の整備を行うため、令和4年5月23日に田浦地域及び走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について、横須賀市立小中学校適正配置審議会へ諮問を行いました。

このたび、横須賀市立小中学校適正配置審議会から教育委員会へ「田浦小学校区を長浦小学校区に編入する方策が妥当である」と答申されました。

(具体的な方策につきましては、今後、教育委員会議による審議を経て決定されます。)

そのため、本日は、これまでの経緯や答申内容等について、皆様へ説明させていただき、説明後、皆様からのご質問やご意見をお伺いいたします。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

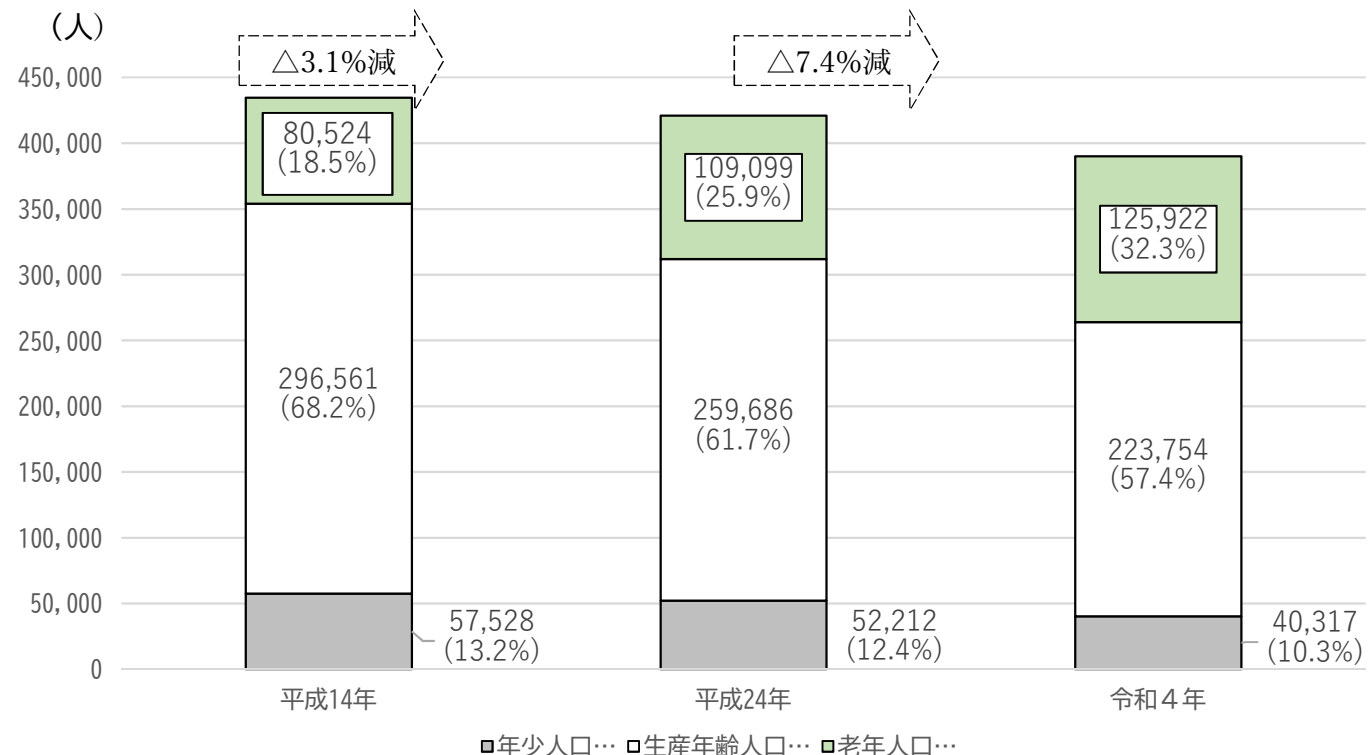
2 横須賀市の現状について

(1) 本市の人口について

① 人口推移

本市の総人口は、平成5年度の439,280人をピークに減少傾向にあります。

老年人口（65歳～）は増加傾向ですが、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳人口）が減少傾向にあります。



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

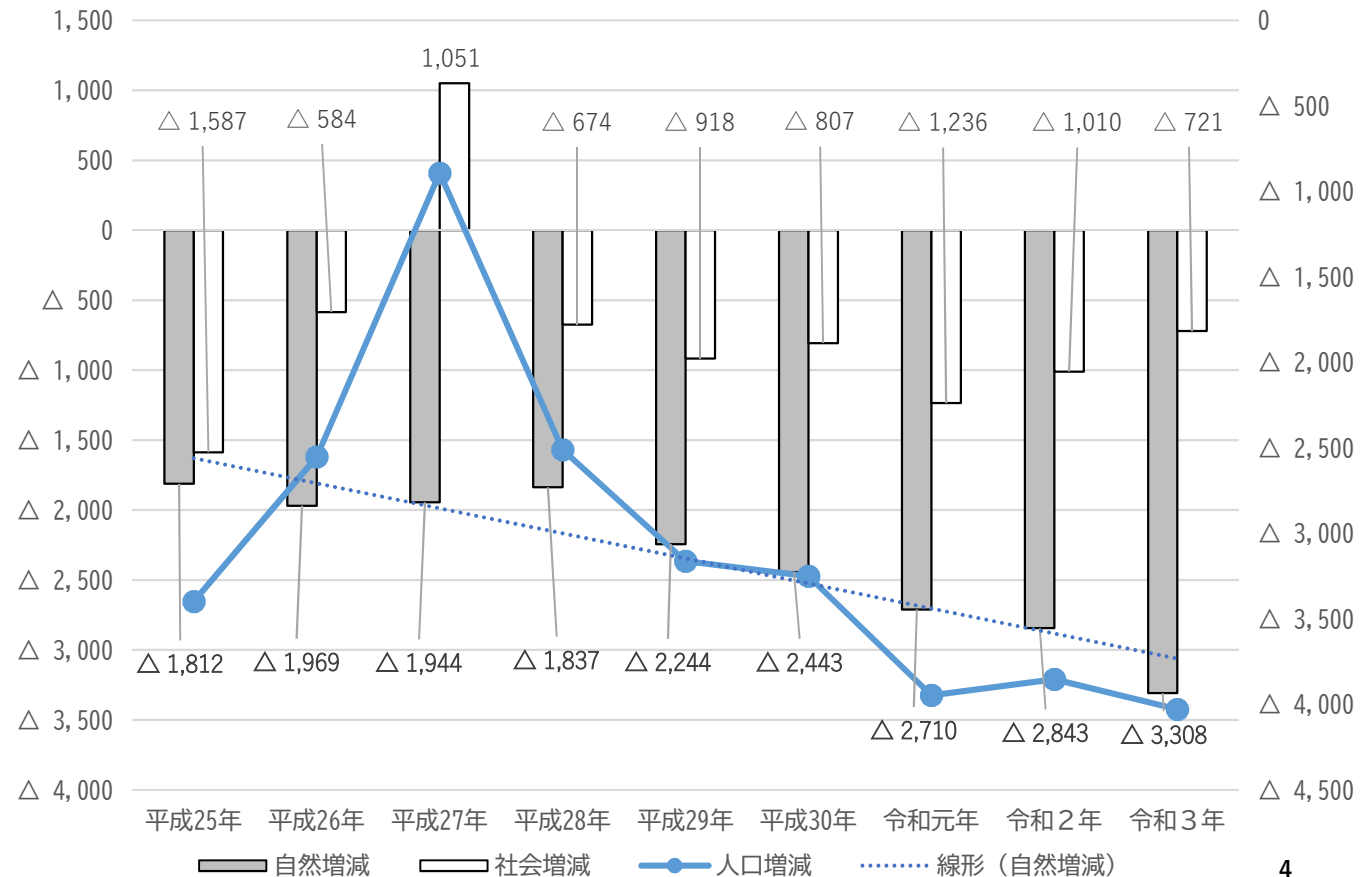
② 人口増減

老年人口は増加傾向ですが、年少人口・生産年齢人口が減少傾向にあります。

このため、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」が人口減少の大きな要素を占め、今後も人口減少の傾向は続くことが見込まれます。

(自然・社会増減：人)

(人口増減：人)



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

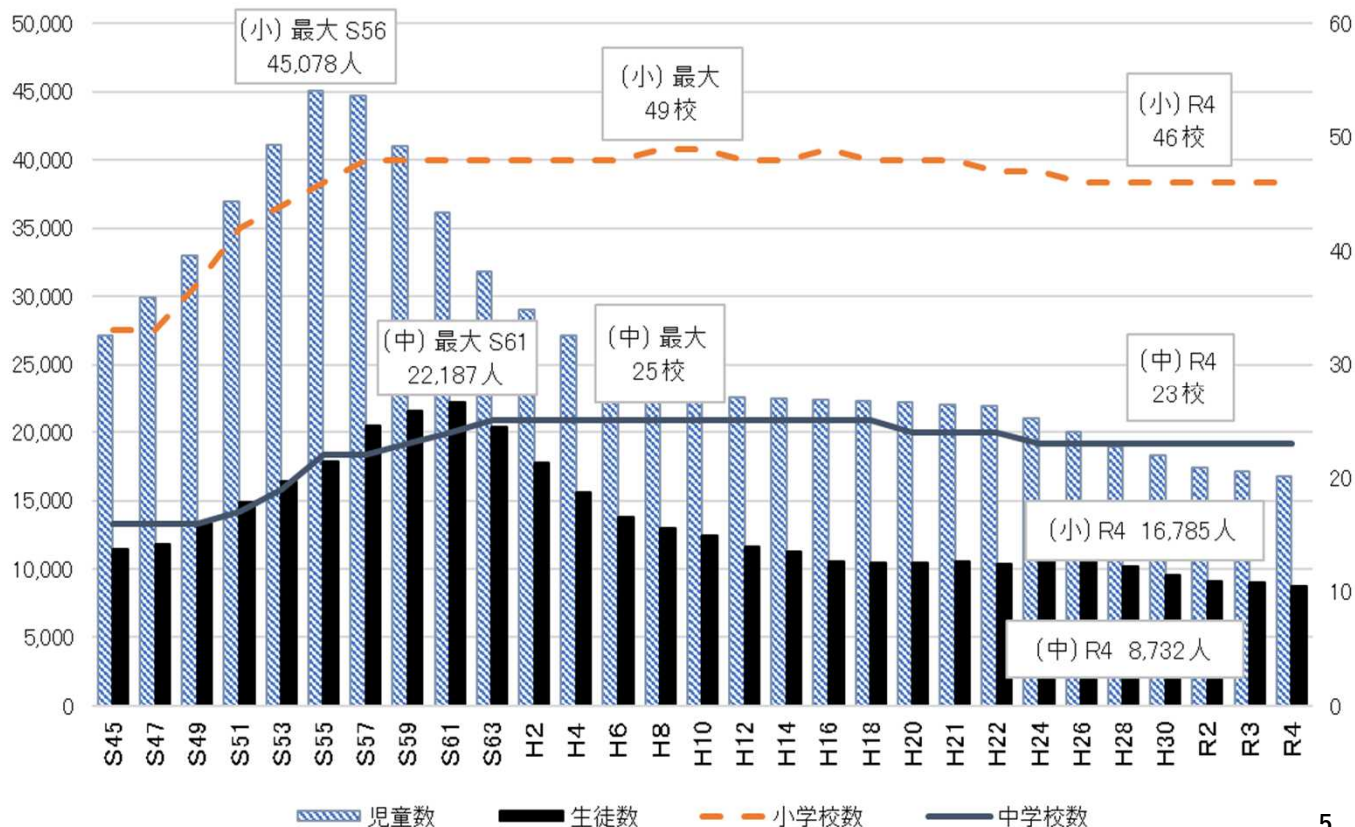
6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

(2) 本市の小中学校の現状について

① 児童・生徒数

小学生の児童数は昭和56年度、中学生の生徒数は昭和61年度をピークに減少傾向にあり、現在の児童・生徒数はピーク時と比べて約6割減少していますが、学校数はピーク時と比べてほとんど変化していないため、多くの学校で小規模化が進んでいます。



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

② 小中学校の学校規模

児童・生徒数の減少に伴い、現在は小学校全体の約30%、中学校全体の約60%が小規模校となっています。

ア 学校規模が適正規模校（12～24学級）である場合

- ・ クラス替えが可能となるため、多くの児童との関わりを持つことができる。
- ・ 多様な意見等に触れやすくなる。
- ・ 活動内容に応じて少人数から集団まで、適切な規模で教育活動を展開できる。
- ・ 学校運営面において、バランスの取れた教職員配置となるため、子どもたちが多様な先生と触れ合える機会が増える。
- ・ 教職員1人当たりの校務をバランス良く分担できる。

⇒子ども同士が豊かな人間関係を築き、より多様な考えに触れる機会が持てるため、多様な教育活動を展開しやすい。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

イ 学校規模の定義

	小学校	中学校
過小規模校	1～5学級（複式学級*あり）	1～2学級（複式学級*あり）
小規模校	6～11学級（各学年1～2学級）	3～11学級（各学年1～4学級）
適正規模校	12～24学級（各学年2～4学級） <ul style="list-style-type: none"> 各学年でクラス替えが可能 学年運営が効果的に行える 教員と児童が十分に関わりを持つことができる 	12～24学級（各学年4～8学級） <ul style="list-style-type: none"> 各学年でクラス替えが可能 学年運営が効果的に行える 教員と生徒が十分に関わりを持つことができる 5教科の教員が複数配置でき、選択教科、部活動などの指導体制が充実する
大規模校	25～30学級（各学年4～5学級）	25～30学級（各学年8～10学級）
過大規模校	31学級～（6学級以上の学年あり）	31学級～（11学級以上の学年あり）

*複式学級…2つ以上の異なる学年を1つにして編制した学級

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

ウ 小学校の学校規模の状況（令和5年5月1日時点）

※網掛け部分が小規模校

番号	学校名	通常 学級数	児童数 (特支含む)
1	走水	5	32
2	逸見	6	71
3	沢山	6	94
4	汐入	6	95
5	追浜	6	98
6	田浦	6	130
7	長浦	6	140
8	荻野	6	159
9	富士見	9	236
10	北下浦	10	230
11	望洋	10	245
12	馬堀	11	263
13	豊島	11	267
14	高坂	11	308
15	桜	12	270
16	長井	12	278
17	鷹取	12	291
18	粟田	12	292
19	鴨居	12	300
20	大矢部	12	318
21	岩戸	12	333
22	野比東	12	342
23	小原台	12	349

番号	学校名	通常 学級数	児童数 (特支含む)
24	津久井	12	356
25	船越	12	358
26	諏訪	12	362
27	大津	12	364
28	大塚台	12	384
29	武山	12	394
30	衣笠	12	404
31	山崎	13	374
32	浦賀	14	405
33	城北	14	444
34	田戸	15	431
35	夏島	15	452
36	大楠	15	463
37	野比	15	468
38	鶴久保	16	503
39	神明	17	523
40	池上	17	532
41	根岸	18	533
42	明浜	18	578
43	久里浜	18	611
44	森崎	22	665
45	公郷	22	690
46	浦郷	24	726
合計		574	16,161

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

工 中学校の学校規模の状況（令和5年5月1日時点） ※網掛け部分が小規模校

番号	学校名	通常学級数	生徒数 (特支含む)
1	鷹取	6	159
2	岩戸	6	143
3	北下浦	6	193
4	長井	6	149
5	馬堀	7	225
6	大楠	8	268
7	坂本	9	286
8	公郷	9	357
9	池上	9	320
10	長沢	9	301
11	不入斗	10	365
12	野比	10	362
13	常葉	11	401
14	武山	11	417
15	田浦	12	394
16	衣笠	12	450
17	大矢部	12	431
18	鴨居	12	399
19	神明	12	422
20	追浜	14	548
21	浦賀	17	618
22	大津	18	696
23	久里浜	18	686
合計		244	8,590

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

③ 学校施設の老朽化

ア 建築年数（令和5年4月1日時点）

本市の学校施設は、児童の増加を背景に昭和50年代に集中して建設しました。

このため、市内全体の5割の小中学校が建築後50年以上を経過しており、学校施設の老朽化が進んでいます。

No.	学校名	建築年度	年数	No.	学校名	建築年度	年数	No.	学校名	建築年度	年数
1	田浦小	1953	70	15	馬堀中	1966	57	29	粟田小	1972	51
2	夏島小	1955	68	16	山崎小	1967	56	30	久里浜中	1972	51
3	豊島小	1955	68	17	大津小	1967	56	31	池上中	1972	51
4	逸見小	1956	67	18	北下浦中	1967	56	32	岩戸小	1973	50
5	田戸小	1956	67	19	森崎小	1968	55	33	公郷小	1973	50
6	衣笠小	1957	66	20	久里浜小	1968	55	34	高坂小	1973	50
7	浦賀小	1960	63	21	鶴久保小	1969	54	35	城北小	1973	50
8	沢山小	1960	63	22	公郷中	1969	54	36	不入斗中	1973	50
9	浦郷小	1963	60	23	明浜小	1970	53	37	走水小	1974	49
10	汐入小	1963	60	24	浦賀中	1970	53	38	大楠小	1974	49
11	坂本中	1963	60	25	馬堀小	1971	52	39	鷹取小	1974	49
12	船越小	1965	58	26	武山小	1971	52		・		
13	鴨居小	1966	57	27	北下浦小	1971	52		・		
14	田浦中	1966	57	28	鴨居中	1971	52	66	長浦小	1991	32

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

イ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定

本市の地形は起伏の多い丘陵地であり、一部の学校は土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されています。

レッドゾーンとは、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づく区域であり、この区域に指定された場合、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造の規制等が行われます。

○学校敷地内がレッドゾーンに指定された場合に考えられること

- ・学校敷地内に防護壁の設置等、災害への安全対策を講じることで、学校の建て替え以外のコストがかかり、活用できる学校敷地が減ってしまう可能性がある。
- ・レッドゾーンを避けて建て替える場合でも、活用できる学校敷地が減る可能性があり、さらに敷地が狭い学校では、建て替え自体が困難となる可能性もある。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

④ 通学区域

「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」では、小・中学校の適正な通学距離をそれぞれ2 km程度（徒歩30分程度）、3 km程度（徒歩45分程度）としています。

学校の立地によって自然環境、その他住宅の偏在など地理的条件により、基準を超える地域がありますが、市内の公共交通機関の整備状況等の地域の実情を勘案し、判断します。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について**
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

3 横須賀市教育環境整備計画について

(1) 検討スケジュールについて

地域	行政区 (中学校区) 対象校	前期計画				後期計画				次期計画	
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12 以降	
田浦地域	田浦行政 (田浦中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討					
	田浦小 長浦小										
走水・馬堀地域	大津行政 (馬堀中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討					
	走水小 馬堀小										
逸見・中央地域	逸見行政 本庁 (坂本中)	後期計画の見直し				協議会の 設置・検討				次期計画の 策定	【段階的な 検討が必要な 場合】 将来を見据 えた地域全 体の学校配 置の再検討
	逸見小 沢山小 桜小 汐入小										
	行政区 (中学校区) 未定										
地域未定	対象校 未定					協議会の 設置・検討				―――	

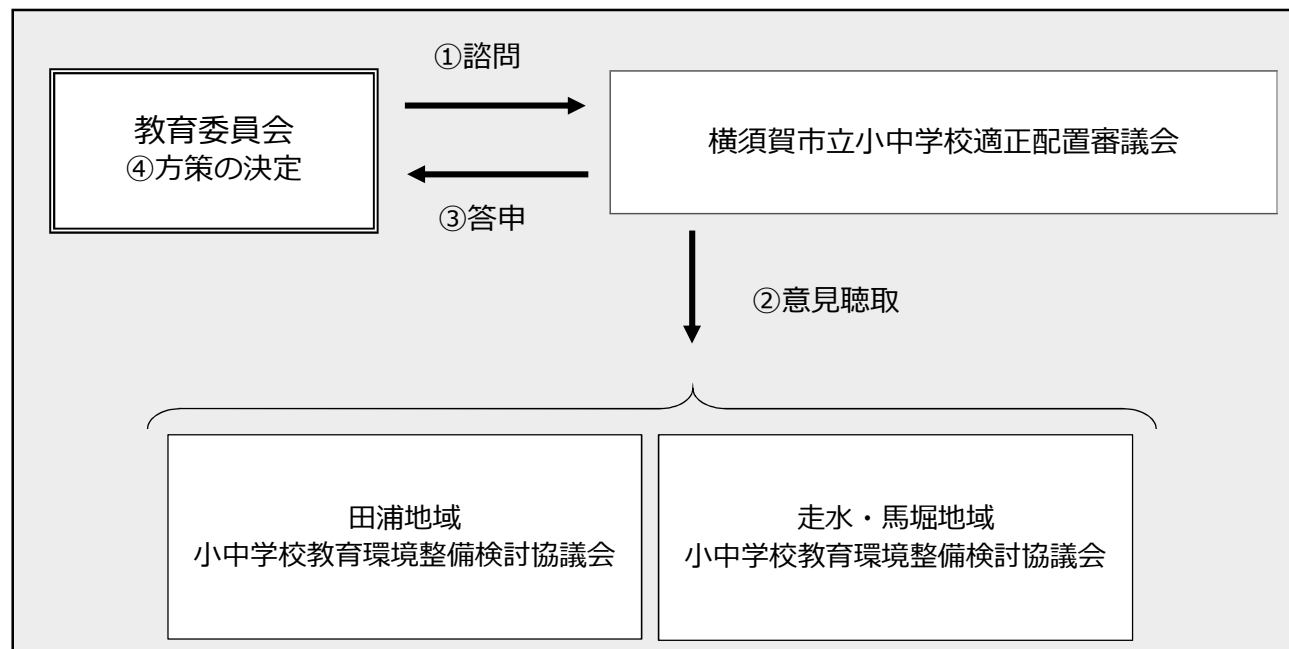
【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について**
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(2) 検討組織について

本市では、「横須賀市教育環境整備計画」を策定し、全市的な視点で、地域ごとの将来像を見据えた対応策の検討を進めています。

なお、検討に当たっては、市教育委員会の附属機関である「横須賀市立小中学校適正配置審議会」へ諮問し、同審議会は「地域別小中学校教育環境整備検討協議会」に意見聴取を行い、答申を通じて市教育委員会が方策の決定を行います。

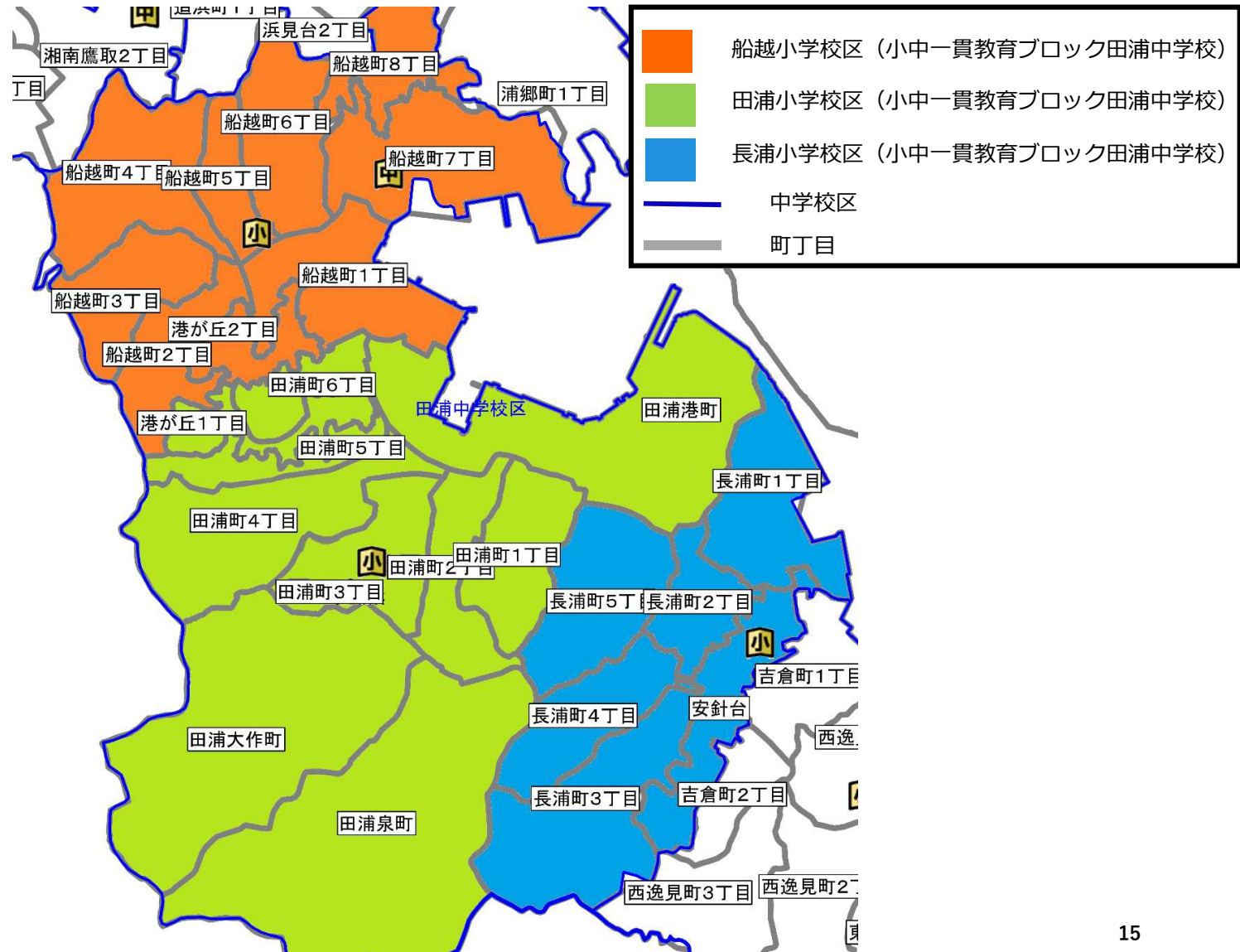


【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

4 田浦地域の小学校の現状について

(1) 田浦地域の小学校の通学区域について



【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(2) 田浦地域小学校の児童数について

① 児童数の現状

※令和5年5月1日現在

学校名		田浦小				長浦小			
児童・学級数		児童数			学級数	児童数			学級数
		男	女	計		男	女	計	
学年	1年	11	12	23(6)	1	9	15	24(0)	1
	2年	11	9	20(3)	1	13	8	21(1)	1
	3年	11	12	23(2)	1	12	17	29(1)	1
	4年	6	12	18(0)	1	2	14	16(0)	1
	5年	11	11	22(2)	1	21	12	33(2)	1
	6年	11	13	24(3)	1	9	8	17(1)	1
	特支	内数(16)			5	内数(5)			2
	計	130			11	140			8
教員数(定数)		16				12			
学校施設	校地面積	7,338.04㎡				17,492.72㎡			
	普通教室	17教室				18教室			
	プール	なし				あり			
設置年月日		大正12年(1923年)4月1日				明治6年(1873年)6月5日			

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

② 将来推計

※ R 5 は実数

学校名	児童・学級数		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
田浦小	児童数		130	117	109	108	101	102	93
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	5	5	5	5	5	5	5
長浦小	児童数		140	137	123	122	112	105	89
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2

③ 児童数の推移

※児童・学級数は、特別支援学級分を含む

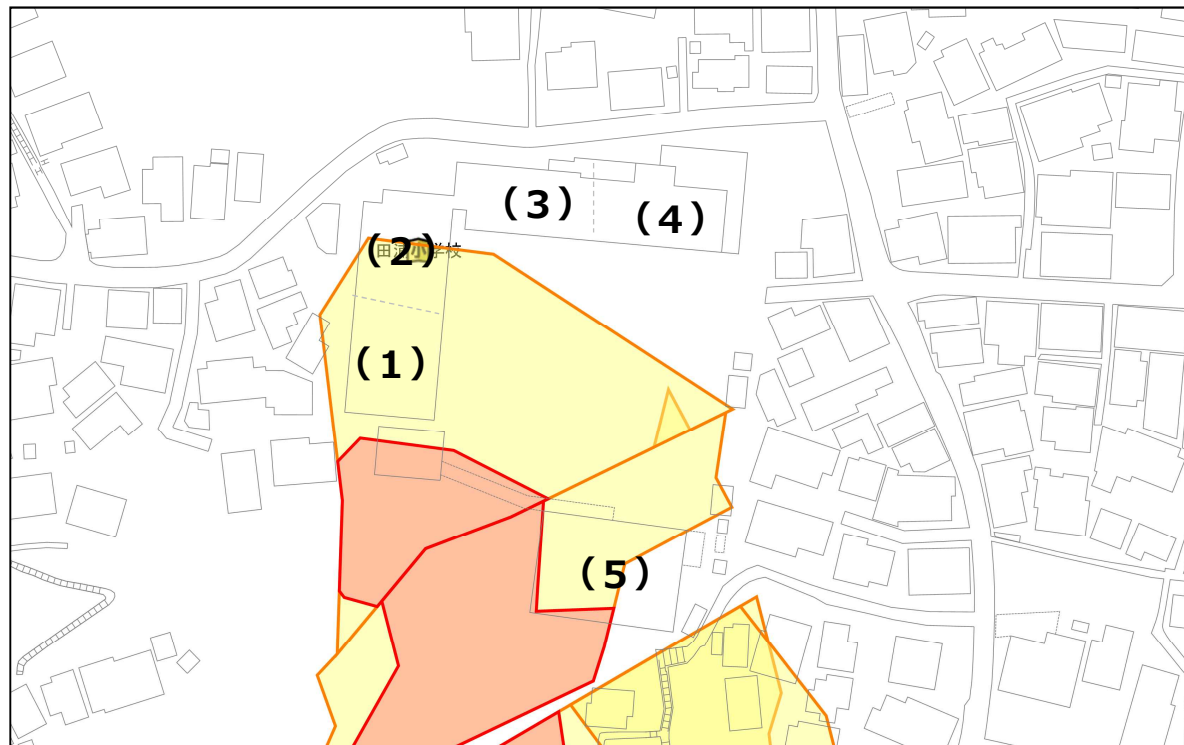
学校名	児童・学級数	S45	S50	各学校のピーク		S60	H 2	H 7	R 5
				S45	S47				
田浦小	児童数	862	831	862	872	542	404	285	130
	学級数	22	23	22	23	15	12	12	11
長浦小	児童数	361	341	361	361	218	179	189	140
	学級数	12	12	12	12	7	7	7	8

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(3) 田浦地域小学校の学校施設について ※網掛け部分がレッドゾーン

① 田浦小学校（令和5年（2023年）現在）

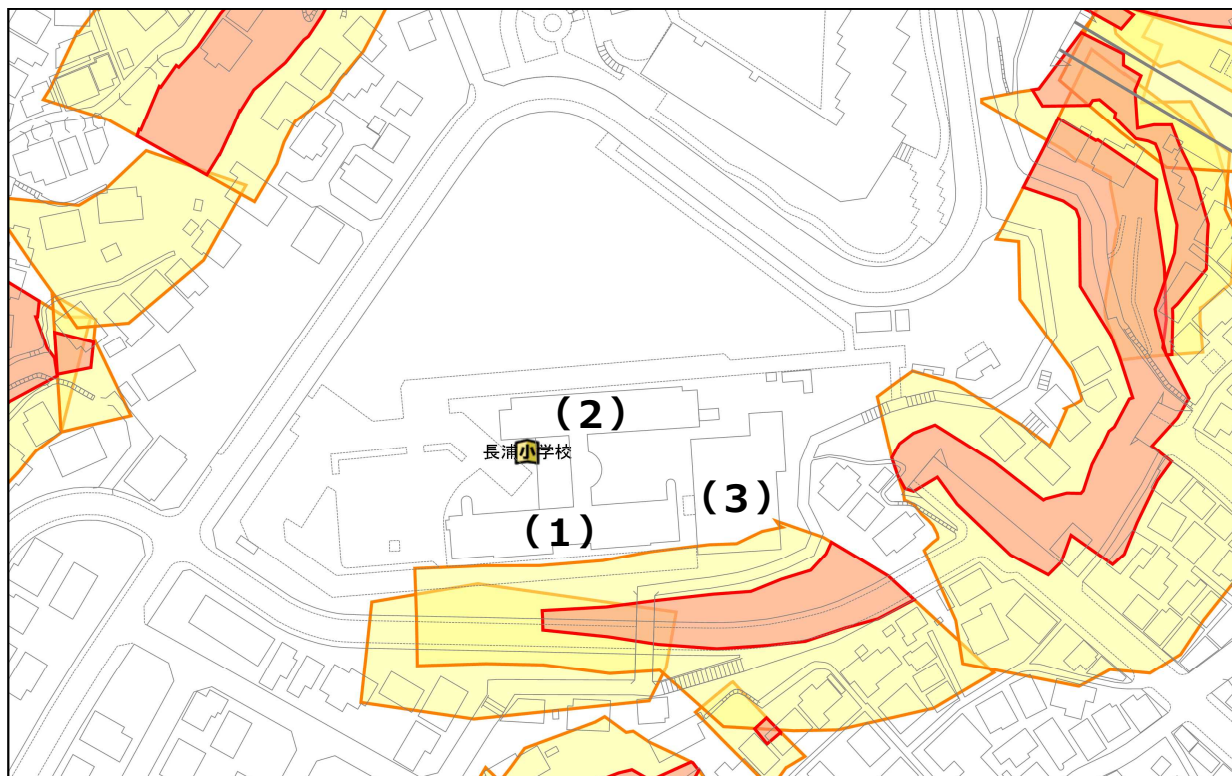


番号	建物名	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	教室棟	3	1,190	1953年	昭和28年	70年
(2)	教室棟	3	983	1959年	昭和34年	64年
(3)	管理教室棟	3	765	1967年	昭和42年	56年
(4)	管理教室棟	3	1,152	1970年	昭和45年	53年
(5)	体育館	1	509	1974年	昭和49年	49年

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

② 長浦小学校（令和5年（2023年）現在）

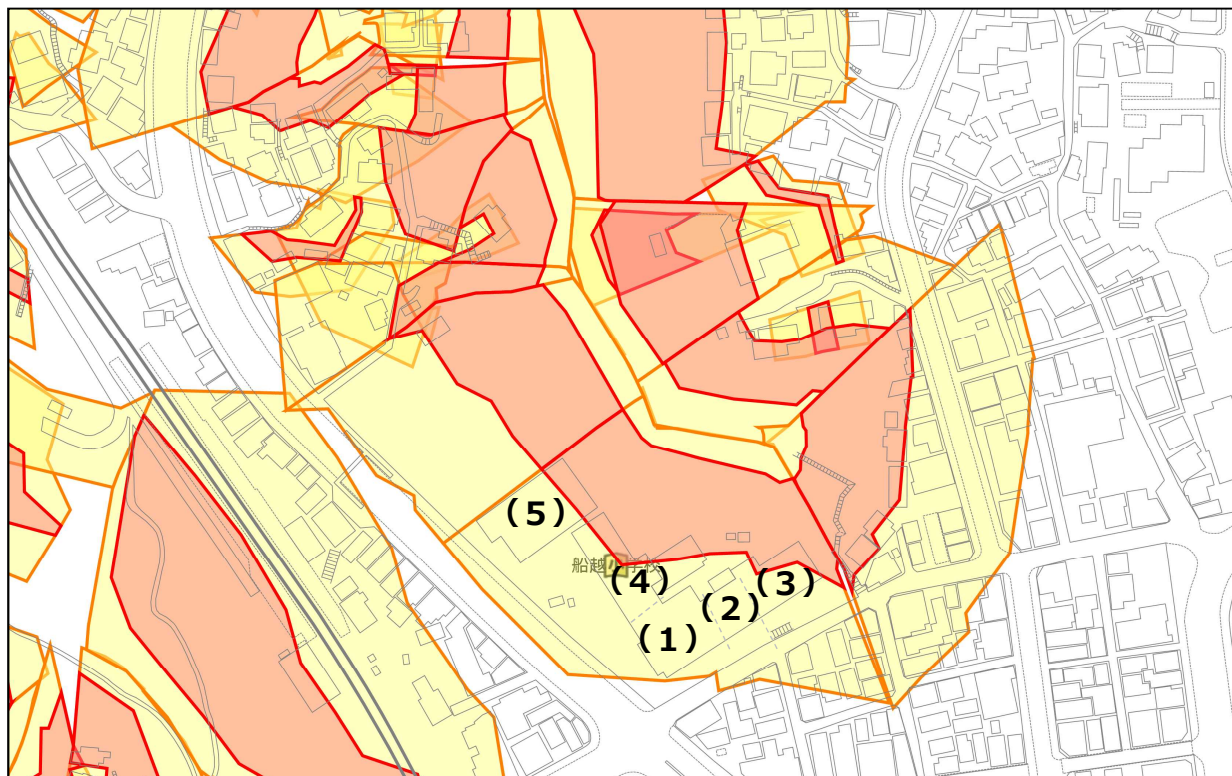


番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	教室棟	4	2,119	1991年	平成3年	32年
(2)	管理特別教室棟	4	2,010	1991年	平成3年	32年
(3)	体育館	2	771	1991年	平成3年	32年

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について**
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

③ 船越小学校（令和5年（2023年）現在）



番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	3	1,133	1965年	昭和40年	58年
(2)	管理教室棟	3	528	1967年	昭和42年	56年
(3)	教室棟	3	934	1972年	昭和47年	51年
(4)	管理教室棟	4	1,729	1975年	昭和50年	48年
(5)	体育館	1	635	1977年	昭和52年	46年

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

(1) 協議会の構成及び開催について

① 構成員

地域関係者、小学校保護者、未就学児保護者、学校運営協議会、学校関係者

② 開催経過

第1回	令和4年 5月26日 (木)	長浦コミュニティセンター
第2回	令和4年 7月13日 (水)	田浦コミュニティセンター
第3回	令和4年10月 3日 (月)	長浦コミュニティセンター
第4回	令和5年 1月31日 (火)	長浦コミュニティセンター
第5回	令和5年 3月29日 (水)	長浦コミュニティセンター
第6回	令和5年 5月19日 (金)	長浦コミュニティセンター
第7回	令和5年11月16日 (木)	総合福祉会館

(2) 協議会における意見について

第6回の協議会において、これまでの意見を集約・整理し、3つの方策案にまとめ、その方策案を第3回の審議会において報告しました。

方策案1 田浦小学校を長浦小学校へ編入する

方策案1の参考 港が丘1丁目を船越小学校区へ編入する

方策案2 長浦小学校に中学校を併設する。また、田浦中学校に小学校を併設する

方策案3 田浦小学校を現地で建て替える

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(3) 方策案1「田浦小学校区を長浦小学校区へ編入する。」

① 趣旨

田浦小学校・長浦小学校ともに全学年が単学級の小規模校となっており、今後も児童数の減少が見込まれます。

また、田浦小学校については、校舎の建築年数が70年と市内で最も古く建て替えの検討時期を迎えていますが、校地面積が狭隘であり、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）や周辺道路の状況から同一敷地内での建て替えは困難であるため、田浦小学校区を長浦小学校区へ編入するものです。

② 懸案

編入後の通学については、距離だけではなく、トンネル、道幅、人通り、防犯などの課題があるため、児童が安心安全に通学できるように対応策を講じる必要があります。

【参考】港が丘1丁目を除く田浦小学校区を長浦小学校区に編入し、港が丘1丁目を船越小学校に編入する。

① 趣旨

港が丘については、港が丘1丁目が田浦小学校区、港が丘2丁目が船越小学校区と別れている状況があるため、町内会・自治会区域と小学校区を合わせる観点から港が丘1丁目を船越小学校区に編入するというものです。

② 懸案

各地域の歴史や地域性、実情などを考慮し、検討する必要があります。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(4) 方策案2「長浦小学校に中学校を併設する。

また、田浦中学校に小学校を併設する。」

① 趣旨

通学距離や小中一貫教育の観点から、長浦小学校の場所と田浦中学校の場所に小中一貫校を設置し、子どもたちの気持ちの前向きになるように新しい教育環境を整備するというものです。

② 懸案

長浦小学校に中学校を併設するには、運動場面積の基準を満たさないため難しい状況です。

田浦中学校に小学校を併設するには、敷地の形状から実現には工夫が必要となります。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(5) 方策案3「田浦小学校を現地で建て替える。」

① 趣旨

田浦小学校は、田浦に住む多くの人が通ってきた歴史ある小学校であり、地域活動や避難所など地域の拠点となっているため、現地での建て替えを行い、田浦小学校を存続するというものです。

② 懸案

田浦小学校については、建替等にあたり必要な道路要件を満たしていないため、実際に建て替えを行う場合には、周辺道路や小学校に至る道路の拡幅が必要であるため、現実的に建て替えは困難であると考えられます。

また仮に道路の問題がクリアになったとしても、田浦小学校がレッドゾーンに指定されているため、建て替えにあたって必要な擁壁などの整備について、校舎敷地が(7,338㎡、市内で3番目の狭さ、運動場では市内2番目の狭さ)狭隘な田浦小学校では、十分な教育活動を行うことが困難な学校(校舎)となってしまいます。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について

5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(6) 各案に関する協議会委員の意見等の概要について

<p>方策案 1 田浦小学校区を長浦小学校区へ編入する</p> <p>方策案 1 参考 港が丘 1 丁目を船越小学校区へ編入する</p>	<p>1. 通学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最長 3 km の通学距離、交通量の多い国道、トンネル、道幅、防犯など通学路に心配がある。 ・通学補助やスクールバス等の通学支援策が必要。 <p>2. 統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合は基本的には反対。 ・学校がなくなることによる人口減少や地域活性化などまちづくりの観点で検討していただきたい。 ・田浦小学校の建築年数や子どもの安全性を考えると田浦小学校区を長浦小学校区に再編する案が有力。 <p>3. 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ないからマイナスということはない。 ・児童数がある程度いることは、子どもの学びや成長に不可欠である。
<p>方策案 2 長浦小学校と田浦中学校にそれぞれ小学校と中学校を併設する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長浦小学校の場所と田浦中学校の場所に小中一貫校ができれば、子どもたちも新しい教育環境で気持ちが前向きになると思う。 ・小中一貫の教育に関して言えば、小学校高学年の専科制が積極的に進められている中なので、非常に魅力的な学校スタイルだと思う。 ・費用面に関して言えば、併設校に建て替えした場合に多額な費用を調達できるのかという心配がある。
<p>方策案 3 田浦小学校を現地で建て替える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の壁を越え、狭小ながらもわくわくするような小学校づくりを提案できれば面白いと思う。 ・老朽化した部分だけを取り壊せば教室は足りるのではないか。 ・その場での学校の建て替えは、児童数の減少の解消にはつながらないと思う。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

- 7 答申の内容について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

(1) 審議会の構成及び開催について

① 構成員

学識経験者、関係団体の代表者、保護者、小中学校の校長
教育委員会が必要と認める者

② 開催経過 ※いずれも市役所庁舎内の会議室で開催

第1回 令和4年 5月23日 (月)

第2回 令和4年12月26日 (月)

第3回 令和5年 6月26日 (月)

第4回 令和5年 7月31日 (月)

第5回 令和5年 9月14日 (木)

第6回 令和5年10月12日 (木)

(2) 審議会での検討及び答申について

教育委員会は、令和4年5月23日に田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について、審議会へ諮問を行いました。

諮問を受けた審議会は、地域の学校関係者、保護者、地域の方々に構成する地域別協議会に意見聴取を行い、検討を行った結果、第6回の審議会において答申をとりまとめ、教育委員会へ答申しました。

(3) 教育環境整備に関する審議会委員の意見等の概要について

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について**
- 7 答申の内容について

<p>学校規模等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年間の成長を考えると、1学年に複数の学級があることが望ましいです。学級編成をある程度考慮できる状況にあることは、多くの子どもにとって望ましいと思います。 ・教員の指導力の向上という点でも複数の学級があることが望ましく、どの学級も安定した経営を行うには、学年経営がととも重要となります。複数の教員で子どもたちを多面的に見て、指導方法を検討しながら関わっていくことで、若手の教員は先輩の教員から大変多くのことを学び、学校の総体としての指導力と教育の質の向上につながっていくと考えます。 ・小規模校でもメリットはたくさんあり、子どもたちがクラスの中で物事を解決しないといけないため、人間関係はたくさんの人と交わればそれだけに良いものもありますが、子どもたち同士で解決していく様子もあり、先生方に把握していただけるということが、保護者としてもメリットをすごく感じています。
<p>学校と地域について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの地域でも自分の住んでいる町は好きなため、何か変わるということに対する気持ちの抵抗というものはあると思います。それをあまり強く出してしまうと地域論的に思われてしまいます。意見が公正公平というような意味でどうかと思ってしまいます。走水、田浦ということだけではなく、全市的、全国的に見た問題で捉えていかないといけません。うちのところが一番良いのだ、だからどうしてもそれだけは残したいというのは公正公平ではないと思います。
<p>通学路の安全確保等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスのメリットは専用的に使うことであると思いますが、子どもが遅れてしまった際、その子どものためにずっと待つのか。それで欠席になったときは、それによって他の子どもたちが待たされたりすることが問題です。路線バスのパスを使って通学するという形をとれば、社会的にも、子どもたちがバスの中で挨拶をすることも一つの勉強になります。地域の皆さんが一番心配していることだと思いますし、地域の方も一緒になって、警察にも一緒に協力してもらってやる等、少し広まった形で地域一丸となってみんなでやっていくという姿勢が必要だと思います。
<p>子どもたちへの意見聴取について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を聞くということはとても大事だと思います。ただし、今少人数の中にいる児童生徒たちは少数の体験しかしていません。そうした中で、大きい学校に編入されるということを考えるのであれば、大きい学校に行ったらこんなことができる、こんな環境になるということを実体験させて、少人数環境から大きい環境へ入る上での集団活動というものを体験させてみてから、子どもの意見聴取をすることが大事ではないかと思います。

【本日の内容】

(4) 各案に関する審議会委員の意見等の概要について

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

- 7 答申の内容について

<p>方策案 1 田浦小学校区を長浦小学校区へ編入する</p> <p>方策案 1 参考 港が丘 1 丁目を船越小学校区へ編入する</p>	<p>1. 通学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて通学というのはなかなか難しい部分もあるが、スクールバスが良いのか、公共交通機関の補助が良いのかを考えていかなければなりません、行政の責任で子どもの安全を担保してもらいたい。 ・通学距離が長くなり危険性が高くなるとすれば、通学路には、トンネルなど多くの問題があります。子ども110番の家も含めて、地域の人と一緒に見守りながら、子どもたちを守っていくという姿勢は、今まで以上に必要になってくる。 <p>2. 統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校という理由での統廃合というのはなかなか理解しにくい部分があるが、老朽化など建て替えの問題があるということは、理解しなければなりません。 ・田浦小学校と長浦小学校を統合しても、令和10年度で児童数が200人程度になってしまい、建物についても、船越小学校は建設時期が12年しか変わらないので、直近の問題になります。 <p>3. 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々と協働する力の育成において、どの教科においても互いに児童が啓発され、学びを広げたり深めたりする中で学習が行われていますが、これが実現できるような環境で学ぶことは非常に重要なことだと考えます。
<p>方策案 2 長浦小学校と田浦中学校にそれぞれ小学校と中学校を併設する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地の中に小学校と中学校があり、職員室、入口、校舎は別でも小中一貫校ということもあれば、もっと突き詰めていけば、小学校と中学校が一緒の形になって、職員の中には小学校の先生も中学校の先生もいる形もあります。それが本当に実現可能かと言われると教員の立場から非常にハードルが高いと思います。
<p>方策案 3 田浦小学校を現地で建て替える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の問題とともに、校舎の築年数の問題があるということで、その両輪で考えなければいけないと確認をしまして、その観点で見ると方策案 3 は、田浦小学校の現地での建て替えが難しいと書いてありますが、もしこれをやった場合でも、築年数の問題はクリアできますが、小規模校の問題はクリアできないと思います。そうすると、少なくとも方策案 3 は解決になっていないと思います。地域の方々の思い等あるとは思いますが、その両輪で考えないといけない。 28

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

7 答申の内容について

(1) 答申について

1 答申内容

田浦小学校区を長浦小学校区に編入する方策が妥当である。

2 理由

田浦地域においては、田浦小学校の学校施設の老朽化及び田浦小学校と長浦小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、現地での建て替えが困難であることから、両方の課題を解決するための方策として判断した

付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、両校の児童が円滑に新たな環境で学べるようにすることや通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。

※具体的な方策につきましては、今後、教育委員会議による審議を経て決定されます。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

(2) 答申内容に関する協議会委員の意見（第7回協議会より）

No.	内容
1	答申において、編入という言葉のイメージが、統合とは少し違うように感じます。統合と言うと、新しい学校ができるので、校名や校歌をどうするか、といったことまで検討できますが、編入となると、ニュアンスが違うように感じます。
2	長浦小学校区の保護者や地域の方は、長浦小学校は受け入れる側なので、特に影響はないと考えている方が大多数だと思います。その中で、地域説明会でそのことに触れないと、決定してから、実は校名等が変更となり、時期は令和7年であるという話が出てくることになるので、ハレーションの元になると思います。地域説明会の順序も含めて再考が必要かと思います。田浦小学校の地域説明会があって、長浦小学校の地域説明会があって、その上で、合同の地域説明会があった方が、効果的なアナウンスができると思います。
3	統合ということで打ち出していくのか、それとも、答申のとおり学区の編入ということで、今後学校をどうしていくかについては、別で決めていくのでしょうか。そこを整理しないと、地域説明会の際に混乱すると思います。
4	統合された後の校名について、事務局の言う「しかるべきプロセス」というものの想像がつかえません。長浦の人たちは、長浦小学校の名前は変わらないと思っている人が多いと思っており、今後の検討次第では、校名や校歌が変わる可能性もあるというのは驚くと思います。
5	長浦小学校の名前がなくなるのはとても悲しく、150周年を迎える伝統のある学校です。また、校歌は有名な方が作曲、作詞をしているので、できれば残して欲しいと思います。地域の皆さんも、残して欲しいという声が多いのではないかと思います。
6	年明け以降に、市長が出席する総合教育会議及び教育委員会定例会議で決定するというのですが、ゴールから逆算して、最終的にいつ完成するのかといったところが分かると、委員の皆さまも動きやすいと思います。
7	新しい学校ということになると、教育課程を作り進めていくに当たり、交流をいきなり始めて試行錯誤しながら進めるというわけにはいかないのと思います。令和6年度の1年間は、統合に向けての計画の年、そして次の1年間は、その計画に則って必要な交流等をしていく年にする必要があります。交流した方が良いこともあれば、それぞれの学校でやった方が良いこともあると思うので、そのようなことを単発的に判断しないためにも、1年間は十分に計画し、その次の1年間で、必要な準備を進めていくというスケジュールが良いと思います。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内 容
8	年明け以降に方策が決まり、その後に交流等を考えていくということですが、方策が決まったら、まず通学路に係る環境整備だと思います。通学路に係る環境整備は1番の課題なので、具体的に、通学の安全について、何ができて、何を整備していく予定があるのかということにも触れていただければと思います。
9	スクールバスについては、昨今ドライバー不足と言われている問題があります。定期券の補助については、子どもたちだけで路線バスを利用するのか、田浦小学校の約130人の児童に係る輸送能力が路線バスにあるのかといった心配もあります。トンネルを歩くということはありませんので、通学にかかる安全の整備は、保護者が安心できるように、具体的に示していただければと思います。
10	これまで、田浦地域と長浦地域で温度差を感じていました。長浦地域の方は、あまり関係ないと思っていたと思うので、丁寧に説明していただければと思います。
11	総合教育会議及び教育委員会定例会で方策と時期が決定した後に、通学路の問題や子どもたちの安全安心、地域の活動についてといった課題に対する地域の意見を聞きながら準備をするということだと思います。最短で令和7年4月ということでしたが、4月になった段階で準備ができなかったということはないということをお願いします。
12	準備について話し合う場合は、子どもと保護者の安全安心を第一に考えて、地域の意見に耳を傾けて準備していただければと思います。
13	バス代の補助という話がありましたが、無料にしてほしいです。
14	学校に通うために家庭がお金を負担しなくて済むようにしてほしいです。以前、他の地域で補助をしていないので難しい、といった話もありましたが、是非お願いします。不登校の問題を考えたときに、補助が出たとしても、家から学校まで距離があるということが一つの原因になってしまうのではないかとということが心配です。教育委員会にはそういった点も考えてほしいです。また、PTAで学校へ行った際に職員室の人数が少ないことが気になります。教職員の人数に余裕をもって配置していただきたいです。児童数が増えると良い面もありますが、教職員の負担は増えると思いますので、教員だけでなく、事務職員等も含めて余裕がもてるようにしてほしいです。
15	方策決定後に、当初予算だけでなく補正予算も含めて、子どもたちの安全安心の面等についての対策がとれる体制をとれるようにお願いします。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内容
16	<p>田浦小学校の土地を寄付した方がいると伺いました。その子孫の方々にはもう土地についての権利はありませんが、先祖が寄付した土地で小学校ができたということは大変誇りに思っています。そういった方がいる中で、田浦小学校の跡地が今後どうなっていくのかということは地域説明会の際にご説明いただきたい。</p> <p>また、学校がなくなることで、幼稚園、保育園、学童、店舗等に関わるまちづくりという観点において、行政としてご説明していただける部署の方が来るのでしょうか。小学校がなくなることによる地域への影響について、どのような考えなのかを伺いたと思います。</p>
17	<p>地域説明会に担当部署の方も出席し、地域のご意見等を直接聞いたほうが良いと思います。教育委員会の方は教育の面の担当であり、まちづくりとなると担当が異なると思いますが、学校が一つなくなるということが、地域にとってどのような影響があるかということについて、直接担当部署の方々に聞いていただくのが賢明だと思います。</p>
18	<p>まちづくりといってもいろいろあり、担当部署も違うので、今後検討が始まり、具体的なご意見やご心配が出る中で、それに関係する部署が出席してご説明する、といったことはあると思います。</p>
19	<p>田浦地区、長浦地区ともに学童クラブがあります。統合した場合に、田浦地区の子が長浦地区の学童クラブを選ぶということも、各ご家庭の判断によってあり得ると思います。</p> <p>バスがあるとしても、学童が終わった後に安全に帰ることができるような方策を考えていただきたいです。仮にスクールバスだとすると、どうしても時間に制限があります。一方、路線バスであれば安全に帰れるのか、もしくは保護者が迎えに行くのか、といったことが心配です。</p> <p>田浦にある社会館の学童クラブを利用しており、高学年は1人で帰ることになっているので気になります。</p>
20	<p>学童クラブは保護者のお迎えが原則ということですが、徒歩でお迎えに行く保護者もいるので、お迎えに係る距離が延びる方もいます。</p> <p>年明け以降に方策が決定し、その時点で時期も決まるということは腑に落ちません。</p> <p>方策が決まってからそれに向けて必要なことを話し合った上で時期を決めるべきだと思います。</p>
21	<p>学校、ご家庭、地域も含めた準備も必要です。準備も含めて時期を決めますというのは、教育委員会の準備に限ったことではないかと思えます。</p>
22	<p>教育委員会から、今後学校でこういったことが必要かという資料もいただいていませんし、現場には何も伝わっていない状況で、方策と時期を決定するということは心配です。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内容
23	<p>統合時期についてはまだ決定していないと思います。</p> <p>今回のケースは、今後の横須賀市の教育環境整備のモデルケースのようになると思います。編入、統合ということを進めていく中で、何が必要か未知数な部分もあるので、丁寧に、どういった取り組みをする必要があるのかを検討し、焦らずにやっていただくことが必要だと思います。</p> <p>また、答申の付言について、両校の児童が円滑に新たな関係で学べるようにすることが大事だと思います。そのためには、急に統合するのではなく、合同の運動会や校外学習といったように、両校がいろいろな形で交流をすると思います。両方の児童がお互いに、自分たちで学校を作っていくんだと思えるような取り組みが大事だと思います。</p> <p>そうしたことを取り組むに当たり、予算や教職員に係るバックアップが教育委員会からあると良いと思います。その上で、小学校におまかせするだけではなく、過去の事例を示すなどしていただきたいです。中学校としても何ができるのか考えて、中学校も含めた検討をする必要があると思います。地域全体で何ができるのかを考え、そこに教育委員会が協力することが大事だと思います。</p>
24	<p>来年度から、長浦小学校の学童クラブの運営事業者が変わると伺っています。</p> <p>市立民営のようなイメージを持っていますが、二つの学校が統合して児童数が増えるので、学童クラブの定員も増えるのか確認してほしいです。</p>
25	<p>統合時期について不安があり、PTAでも、何を準備する必要があるのかも分からず不安といった話が出ています。</p> <p>子どもの6年間は、子どもにとって大きな影響を与えるので大事だと思っており、大人の都合ばかりで話し合っているように思えます。教職員に不安があると、子どもたちはより不安だと思いますので、納得のいく説明をしていただきたいです。未来の子どもたちのことを考えると大きな問題だと思い、教職員に不安がある中で進めていくということについては、不安を感じます。</p>
26	<p>教職員や子どものことを第一に考えて欲しいなと思います。</p> <p>通学路の問題について、長浦小学校のPTAは旗当番等に関わっています。その中で、数年前からPTAは全員強制的に入るという状態ではなく、入りたくない人は入らなくても良いという形をとっているため、統合したことによる登校時の見守り等をPTAに頼まれても難しいと思います。朝の時間帯に協力できる保護者はあまりいません。</p>
27	<p>方策が年明け以降に決定するということですが、反対意見が多ければ統合できないと思います。また、登下校の見守り等を地域のボランティアに任せてほしくありません。</p>
28	<p>一方で老朽化の問題もあり、全員が納得するということはないと思いますが、丁寧に説明をしていただいて、納得できる時期に答申に沿って進めていただければと思います。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 田浦地域の小学校の現状について
- 5 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内容
29	<p>最短で令和7年ということですが、教育委員会が学校に対して統合に向けて進めていく一方、地域が住民に対して説明をして、子どもたちを一つの学校に通わせる準備期間も必要だと思います。ボランティアの話も出ましたが、地域の中で、子どもたちや地域の関わりというものが変わっていきます。そういった中で、ボランティアはどうあるべきか、地域としてどういったことが協力できるのか、ということを検討していかなければならないと思います。そういった点から、令和7年という時期は拙速だと思います。地域説明会があり、その後に地域がどのように考えていこうかという話し合いが持たれると思います。その中で、地域が話し合っただけでは、少し期間が必要だと思います。</p> <p>方策や時期の決定に関しては地域説明会での意見も反映していただければと思います。</p>
30	<p>統合についてどの程度の作業が必要なのかまだ分からない状況です。</p> <p>ただ、統合を令和7年ではなく令和8年にすることは、余裕を持って準備できるという面もありますが、統合が遅れることのデメリットもあると思います。</p> <p>また、答申が出たということで、年明け以降の決定を待たずに、学校現場としては統合を想定しなければいけないと思います。校名や校歌等についても、いろいろな意見が出るとは思いますが、いずれにせよ、子どもの気持ちを考えなければならぬと考えます。</p> <p>例えば、田浦小学校という名前になったときに、長浦小学校の子どもたちはどう思うか、逆の場合はどうか、といったことを大切にしなければならぬと思います。そういった点からも、統合については地域の方や保護者の支援、協力が必要だと思います。</p> <p>働き方改革によって時間外を少なくしようとしている中で、統合の準備にかかる業務があると思うので、加配はありがたいと思います。</p> <p>両校が長年培ってきた教科の中での独自のカリキュラム、行事、特別活動といったものをすり合わせるということを考えても、相当な時間が必要だと考えています。</p>
31	<p>高校の話にはなりますが、逗子・葉山高校の統合の際は生徒同士で話をして、校歌を作ろうという意見が高まり、時間をかけて一緒に作ったそうです。また、逗子・葉山高校の校舎の中に、逗子高校のライブラリーのような部屋があり、これも生徒の発想であったと聞いています。このように、今後いろいろと考えられるものがあると思います。</p>
32	<p>令和7年に向けて、教育委員会では、子どもたちの安全についてどういった方策を持っているのかをお示しいただきたいと思います。子どもを通わせる親として、子どもの安全は非常に重要な部分だと思います。方策と時期が決まってから検討し始めるのでは、保護者として不安です。</p> <p>この場でなくても良いので、横須賀市として、教育委員会として、統合に向けてどのようなことを考えているのかということを示していただければ、保護者としても安心できます。</p>

地域別小中学校教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



横須賀市 検討協議会



横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



横須賀市 適正配置



ご意見等がございましたら、以下のファクスかE-メールまでお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

E-メール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀が好み!

